



2023年1月30日

報道関係者各位

慶應義塾大学

**東急不動産株式会社との産学連携で  
竹芝地区でのコンテンツ×テクノロジーの拠点形成を目指して  
新たな取組みを実施**

**—KMD「Social Creation」の授業における実践的取組み—**

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 PoliPro（主宰：石戸奈々子メディアデザイン研究科教授）は「Social Creation（ソーシャルクリエイション）」の授業において、竹芝地区におけるコンテンツ×テクノロジーの拠点形成をともに推進している東急不動産株式会社と連携し、リアルとバーチャルを連動させた新たな取組みを実施し、その有用性を実証しました。

1. 産学連携での新たな取組みについて

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（KMD）の活動の核でありカリキュラムの軸でもある「リアルプロジェクト」の一つ Policy Project（PoliPro）では、新たな情報社会を築く産官学連携プロジェクトを進めています。このうち、社会課題をクリエイティブに解決する「Social Creation（ソーシャルクリエイション）」の授業においては、東急不動産株式会社と連携し、竹芝地区でのまちづくりを推進しています。授業では、竹芝地区の課題解決に向けて複数のテーマを提示し、計7チームが提案しました。いずれも具体性のある提案であった中で、「リアル×バーチャルの謎解きイベント」「水上バス×ごろ寝による新しい舟運体験」が優秀案として採択され、竹芝地区のイベントに合わせて実践しました。

2. 竹芝地区におけるワクワクするスマートシティの実現に向け、「リアル×バーチャルの謎解きイベント」

<概要>

実施日時：2022年10月29日（土）、30日（日）

実施場所：東京ポートシティ竹芝 1階 ポートホール

所要時間：約1時間

参加者：18組（家族2～5名で参加）

実施概要：

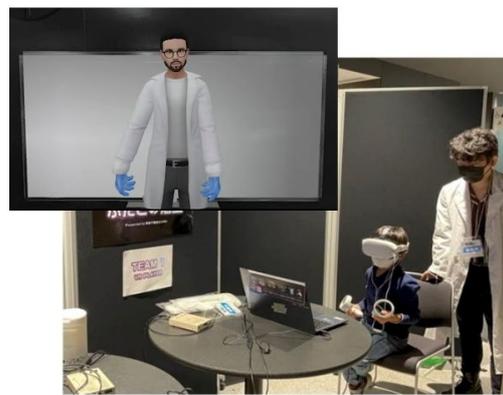
- ①参加者は家族でチーム参加し、リアルとバーチャルに分かれて一つの謎解きゲームに挑戦。
- ②バーチャル側は、ヘッドマウンドディスプレイでリアル会場（竹芝のポートホール）を3Dモデリングで複製したデジタルツインの空間に入り込み、リアル側とネットワーク通信で協力する。
- ③実際のイベント会場に隠されたヒントとバーチャル上のヒントを組み合わせ、謎を解いていく。



<リアル>



<バーチャル>



リアル×バーチャルの謎解きイベント実施の様子

#### <リアルとバーチャルを連動させた新たな取組みの今後の可能性>

今回リアル空間のみでもなく、またバーチャル空間のみでもない両方を連動させるという体験価値の高さを実証することができました。

今後も引き続き、コンテンツとテクノロジーが集積する国際ビジネス拠点の形成を目指して、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科との産学連携で活動を展開するとともに、竹芝地区におけるテクノロジー活用のまちづくりの取組みとして、建物全体・街全体におけるリアル空間とバーチャル空間の連動による来街者の体験価値向上、安心安全なまちづくりへの可能性を検討し、新しいかたちでの街への集客やコミュニティの形成など、広くまちづくりに活かしてまいります。

#### <採択チームコメント>

VRのみならず、デザインやサービスデザイン、コンピューターインタラクションなど異なる研究領域の学生が協働しながら制作しました。体験型謎解きイベントは需要が高いコンテンツで海外でも様々な事例がありますが、日本ではデジタル化があまり進んでいないという課題がありました。東急不動産のスマートビルの最先端の環境をお借りして、地域の方々の参加協力もあり、こうしたメタバースのサービス構築を社会実装することができました。

### 3. 舟運等による竹芝発の東京ウォーターフロント活性化に向け、「水上バス×ごろ寝による新しい舟運体験」

実施日時：2022年10月29日（土）

実施場所：竹芝(ウォーターズ竹芝船着場)～豊洲(豊洲ぐるり公園乗船場)

所要時間：約30分

実施概要：船での移動中にここで寝られたらいいなと思ったことはありませんか？

そんな夢を叶えるべく、船の中に芝生の上で気持ちの良いクッションと共にゆったりと船移動を楽しめる空間を約100人に体験してもらいました。



#### <採択チームコメント>

今回の産学連携の取り組みでは多様なバックグラウンドや強みを持ったメンバー、そして企業とのコラボレーションによって、今までにない価値を創出することができたと思っています。「船の中でも柔らかい芝の上で横になってゴロゴロしながら移動できたらいいな」という一学生目線の一見不真面目なアイデアから始まりましたが、企画当日に狙った通りの楽しみ方をされているお客様を目にして、アイデアで実社会に貢献するとは何かということを知ることができ、非常に実践的で大きな学び・経験になりました。

### 4. 竹芝地区でのこれまでの取り組み

竹芝地区では、2020年に開業した東京ポートシティ竹芝を中心に、コンテンツとテクノロジーが集積する国際ビジネス拠点の形成を目指したまちづくりを進めています。このまちづくりを推進するための一団体として2015年に設立したCiP (Contents innovation Program) 協議会では、50社ほどの企業・団体が、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科などとともに産学連携で活動を展開しています。CiP協議会では、20を超える連携プロジェクトが進行しており、国のスーパーシティ構想を実装する都市モデルの開発を進めるCity&Tech委員会や、メタバースにおけるイベント開催や政府への提言などを行うMetaverse Portal (メタバースポータル) の運営などを行っており、「Social Creation (ソーシャルクリエーション)」における産学連携もその一つです。

<https://cipcipcip.org>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

・研究内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学メディアデザイン研究科 教授 石戸 奈々子 (いしど ななこ)

E-mail : [nanakosec@kmd.keio.ac.jp](mailto:nanakosec@kmd.keio.ac.jp)

- 本リリースの配信元

慶應義塾広報室 (澤野)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>